

〈Q & A〉

よく寄せられる、指定学校概況調査に関する質問と回答です。

【報告 1】

Q 1－1．大学院において助産師のみ指定を受けていますが、専任教員表や臨床教授等の報告については「助産師」教育に関する分についてのみの報告でよろしいでしょうか。

A．他の分野も含めた教員（大学院の修了単位および助産師ライセンス単位に必要な開講科目を受け持つ教員）全てを記載してください。

【報告 2】

Q 2－1．14 条特例の学生は実際にはいるが、募集人員として要項に記載していない場合の取扱いはどのようにすればよいでしょうか。また、個別審査を受験資格として行っている場合はどのようにすればよいでしょうか。

A．募集要項に記載がないのであれば 14 条特例は「×」として、実際に実績があるのであれば入学者数に人数を記載してください。また、個別審査は、受験資格審査だけではなく、審査によって合否を判定しているのであれば「○」としてください。

【報告 3】

Q 3－1．在学状況の記載について、休学者は含めた方がよいでしょうか。

A．休学者も含めて記載してください。なお、連絡シートに休学者の入学年度、学年の記載をしてください。

【報告 4】

Q 4－1．国家試験不合格者の卒業者が、国家試験対策のため専門学校に進学する場合は、進学者としてカウントしてよいでしょうか。

A．進学者「その他」の「その他の学校」としてカウントしてください。

Q 4－2．病院に就職しながら、大学院にも通う卒業生がいるが、就職か進学のどちらにカウントすればよいでしょうか。

A．進学者としてカウントし、連絡シートにその旨記載してください。

Q 4－3．各種学校とはどのようなものが該当するのでしょうか。研究生、予備校生も各種学校にカウントするのでしょうか。

A．各種学校は、学校教育法 134 条より「幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校以外の学校教育に類する教育を行うもの」が該当します。また、研究生及び予備校生は「その他」にカウントしてください。

Q 4－4．9 月末卒業の場合はカウントするのでしょうか。

A．大学として、当該年度卒業としている場合はカウントしてください。

【報告 5】

Q 5－1．基礎教育と専門教育科目を両方担当する専任教員は、どのようにカウントするのでしょうか。

A．専門教育にのみカウントし、基礎教育ではカウントしないでください（実数になるようにしてください）。

Q 5－2．助手数は、非常勤助手や嘱託助手も含めるのでしょうか。

A．非常勤助手、嘱託助手ともに含めずに記載してください。

Q 5－3．専任教員が、はり師、きゆう師の両方の免許を有している場合は両方記載すればよいでしょうか。

A．両方に記載してください。なお、連絡シートにその旨記載してください。

【報告 6】

Q 6－1．「称号付与の有無」とは、称号制度の有無を記載すればよいのでしょうか。称号付与の実績の有無を記載すればよいのでしょうか

A．称号付与の実績の有無を記載してください。

Q 6－2．「実習施設における実習指導者数」は実習施設所属の指導者数を記載すればよいのでしょうか。それとも、大学の教員数も含めるのでしょうか。

A．大学の教員数は含めず、実習施設等の所属している指導者数を記載してください。

Q 6－3．5月1日までに申請はしているが、承認されていない施設については報告の対象になるのでしょうか。

A．当該年度に実施する予定の実習施設数の記載となりますので、未承認の施設も対象となります。

【報告 7】

Q 7－1．休職者も記載したほうがよいのでしょうか。

A．休職者も記載してください。ただし、教育経験年月については、休職中の期間は含めないでください。

Q 7－2．臨床教授、非常勤の期間も教育経験に含めてよいのでしょうか。また、研究員として、臨床も行う場合は臨床経験に含んでよいのでしょうか。

A．臨床教授については、実際に教壇に立って学生に指導しているのであれば教育経験に含めてもかまいません。非常勤についてはすべて含めないでください。また、研究員についても診療を行っている（診療登録を行っている）場合は含めても構いません。

Q 7－3．担当科目は学部のものだけでよいのでしょうか。大学院の担当科目も記載すべきでしょうか。

A．当該資格に係る指定（認定）学校の科目を記載してください。大学院が当該資格に係る指定（認定）学校であれば、課程ごとに作成となっておりますので、それぞ

れ記載してください。

Q 7－4．理学療法士専攻に昼間と夜間の 2 コースあるが、昼夜間とも専任教員は共通として指定申請しているが、共通の書類を提出してもよいのでしょうか。

A．指定申請の際に、そのように承認を受けているのであれば、共通のものを提出しても構いません。

Q 7－5．教育経験年月については「助手の経験年月は含めない」とあります。昨年度の報告においてもこの注意書に沿って、「助手」の期間についてはすべて除き、助教以上の経験年数を計上していましたが、平成 19 年度の学校教育法改正以前の助手の期間についてもすべて除いてよいものなのでしょうか。

A．助手の経験年月はすべて含めないでください。